

# 第15回全日本ユース(U-15)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2022/12/26】

## この試合のプレー集計

### 準々決勝

三重県選抜

6	1	—	5
	1	—	1
	2	—	3
	2	—	2

11 京都府選抜

PSO

審判： 宇田川 佑里子  
伊藤 晃二

三 重 県 選 抜	21	SH数	23	京 都 府 選 抜
	6	速攻数	5	
	5	ST・SB	12	
	3	SH・P誘発アシスト	9	
	39%	GK阻止率	45%	
	3	EX反則数	6	

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

### 【試合の流れ】

前回大会の準々決勝と同じカードとなった一戦。前回大会では三重のエース佐々木と京都の井上との対決が見ごたえある試合展開を形成したが、今大会ではさらに一回り成長した京都⑤井上がどういったプレーを見せ、それを三重側がどう防ぐかがポイントとなる試合が予想される。

#### 【1P】

京都GK⑬細川からのロングパスを右サイドで受けた京都⑤井上がそのまま持ち込んで京都が先制。しかしすぐさま三重もが決めて追いつく。京都はゴール前で退水を誘発して、右サイドの京都⑤井上がジャストパスで③岡本にパスを出して2点目をゲット。さらにゴール前へ泳ぎ込んだ京都⑤井上がGKも抜いてゴールラインを越えるプレーで圧倒。京都のロングパスからの個人技で完全に優位に立った。⑥渡邊、④中西にもジャストパスが渡ってゴールを決めるなど、パス精度の高さはユース世代レベルで抜きん出ている京都の印象を強めた第1ピリオド(三重1－5京都)。

#### 【2P】

ピリオド序盤の京都の猛攻を三重がしのぎ、右展開に。ゴール前にドライブした⑤園田が退水を誘発してそこで決めて1点を返す。その際の京都ベンチにイエローカードが出るが、京都の選手の方は落ち着いてプレーしてすぐさま⑥渡邊が得点。京都の攻撃力に徐々に慣れてきた三重という展開の第2ピリオド。この世代の水球としてはハイレベルな戦いで、点数以上に見ごたえのある試合展開となった。

#### 【3P】

このピリオド、⑥渡邊がセンターで浮いたパスを決めて京都7点目をゲット。すぐさま三重④山本がセンター位置でダブルマークされながらもペナルティを誘発して自身で決めて三重が3点目。このあたりから選手側も徐々にエキサイトし始め、ボール接点で激しい攻防が続く。審判の判定がやや遅いこともあって、両チーム選手、ベンチがやや興奮状態に。それでも京都GK⑬細川の冷静沈着なプレーと判断で京都は主導権を渡さない。再三のピンチも位置取りと機敏な動きでゴールを守り続けた。三重4－9京都で第3ピリオド終了。

#### 【4P】

三重の攻撃が手詰まりでオーバータイムとなってからの京都の攻撃。三重も十分にディフェンスを整えての対応だったが、⑥渡邊がセンターシュートを決めて10点目。すぐさま三重も④山本が取り返したが、その後の攻撃が続かない。京都も三重に十分な布陣で守備されると、強引なシュートが目立ち、ゲーム序盤のパスが影を潜めてしまった。三重はゴール前で退水を誘発して④山本が決めて6点目。少しずつ追いつく展開となったが、残り時間あとわずか。京都⑮岩本がゴール前でペナルティを誘発して自身で決めて11点目を決めて試合終了。三重6－11京都で、京都が準決勝進出を決めた。

試合の中盤以降は三重は互角に戦えただけに、序盤のロングパスで大きく振られての失点が勝負の分かれ目となった。しかしながら、ハイレベルの戦いを見せた両チームの健闘には拍手を送りたい。